

# 2021年3月期第3四半期決算報告

## 2021年3月期業績見通し



〒 5 9 8 5

2021年2月12日

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.



# 1.2021年3月期第3四半期決算概要

# 2.2021年3月期業績見通し

# 1.2021年3月期第3四半期決算概要



# 2021年3月期第3四半期累計決算のポイント

- 売上高 28,605百万円（前年同期比▲9.3%）
- 営業損失 ▲1,217百万円（前年同期：1,070百万円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減収減益となるも、

自動車分野は1Qを底に回復。3Qは営業利益黒字化（87百万円）

## 新型コロナウイルス感染症の影響

- \* 自動車販売及び生産は各地域とも回復傾向。昨年9月以降プラスに転じる。
- \* 一方で、先進国においては感染拡大による行動規制強化により、不透明な状況が継続

### 自動車分野

#### \* 自動車関連

3Q累計売上高は上期の影響が大きく前年同期比減収も、3Q売上高は市場回復に伴い同増収

### 電子情報通信分野

#### \* HDD用サスペンション

データセンター投資増に伴い、需要は高水準で推移。3Q累計売上高は前年同期比+40.0%

#### \* プリンター関連

新型コロナの影響でオフィス向けは軟調も、在宅勤務に伴う家庭用特需により3Qでは前年同期比プラスを達成

# 2021年3月期第3四半期累計 決算概要

- 売上高      新型コロナ感染拡大の影響を受け、前年同期比9.3%減収  
                   (3QはHDD用サスペンション需要増加及び自動車分野回復により、同11.7%増収)
- 営業利益    減収の影響及び積極的な戦略投資に伴う減価償却費増により、営業損失を計上。  
                   操業度に応じて人件費(派遣費用・時間外)削減、経費コントロールを実施。  
                   (3Qは、営業利益以下黒字化)

(百万円)	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	31,547	<b>28,605</b>	▲2,942	▲9.3%
営業利益	1,070	<b>▲1,217</b>	▲2,288	—
経常利益	1,159	<b>▲1,113</b>	▲2,273	—
四半期純利益	※1,201	<b>▲790</b>	▲1,992	—
一株当たり利益	37.70円	<b>▲25.00円</b>	▲62.70円	—
平均為替レート	108.6円/ドル	106.1円/ドル	—	—
	121.0円/ユーロ	122.3円/ユーロ	—	—

※2020年3月期第3四半期累計は、特別利益として投資有価証券売却益563百万円を計上

# 四半期別 決算概要

- 3Qで業績回復、営業黒字化を達成
- 自動車関連及び電子情報通信関連がともに大幅回復し、前年同期比でも増収を達成

(百万円)	2020年3月期				2021年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比 増減額	2Q比 増減率
売上高	10,270	10,737	10,540	10,807	7,964	<b>8,872</b>	<b>11,767</b>	<b>+2,895</b>	<b>+32.6%</b>
営業利益	156	301	613	304	▲745	<b>▲560</b>	<b>87</b>	<b>+647</b>	—
経常利益	200	290	669	176	▲876	<b>▲484</b>	<b>246</b>	<b>+730</b>	—
当期純利益	120	208	※ 873	▲78	▲680	<b>▲336</b>	<b>225</b>	<b>+561</b>	—
平均為替レート	109.9円/ドル	107.3円/ドル	108.7円/ドル	108.9円/ドル	107.6円/ドル	106.2円/ドル	104.5円/ドル	—	—

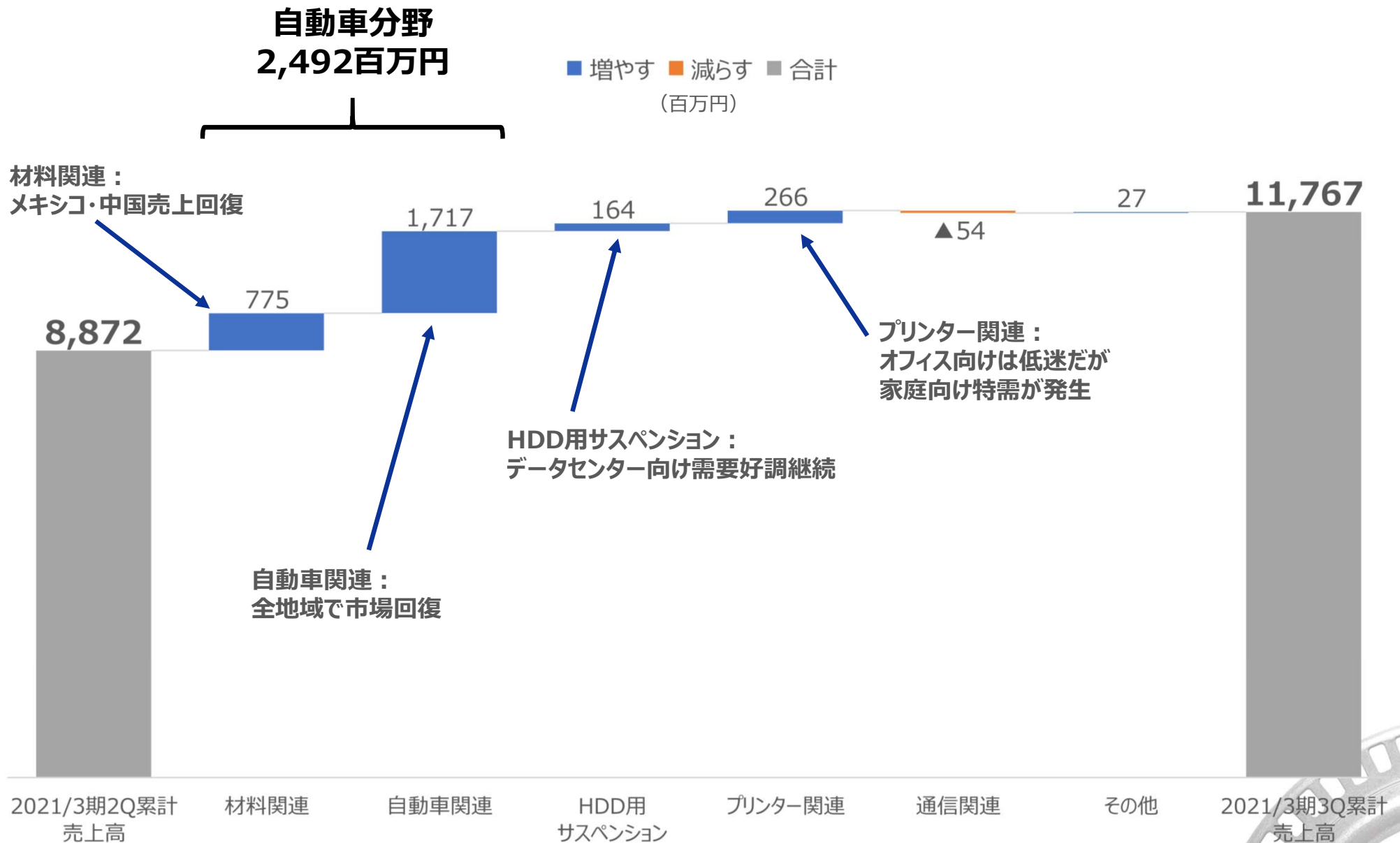
※2020年3月期は、3Qに特別利益として投資有価証券売却益563百万円を計上

# 製品区分別 四半期売上

- 自動車分野
  - 材料関連 : 自動車生産低迷の影響を受けるが、メキシコ・中国を中心に3Qから回復
  - 自動車関連 : 新型コロナ感染拡大の影響により減収も3Qから前年レベルに回復
- 電子情報通信分野
  - HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加で堅調
  - プリンター関連 : オフィス向けは需要減も、家庭用特需により2021/3期3Q以降回復
- その他
  - スマートフォン部品販売売上が減少

(百万円)	2020年3月期				2021年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比 増減額	2Q比 増減比
売上高	10,270	10,737	10,540	10,807	7,964	8,872	<b>11,767</b>	+2,895	+32.6%
自動車分野	7,481	7,737	7,642	7,387	5,349	5,505	<b>7,999</b>	+2,492	+45.3%
材料関連	1,184	1,316	1,281	1,274	1,344	760	<b>1,536</b>	+775	+102.0%
自動車関連	6,296	6,421	6,360	6,113	4,004	4,745	<b>6,463</b>	+1,717	+36.2%
電子情報通信分野	2,591	2,674	2,218	2,911	2,343	3,105	<b>3,481</b>	+376	+12.1%
HDD用サスペンション	1,532	1,493	1,151	1,913	1,373	2,155	<b>2,320</b>	+164	+7.6%
プリンター関連	839	910	883	770	746	648	<b>915</b>	+266	+41.0%
通信関連	220	269	183	227	223	300	<b>246</b>	▲54	▲18.0%
その他	196	325	678	507	271	261	<b>286</b>	+27	+10.3%

# 製品区分別売上高要因分析（第2-第3四半期累計比）





# 地域別四半期売上

- 日本 自動車分野：新型コロナ感染拡大による大幅減収（1Q）から回復
- 米国 自動車関連製品：新型コロナ感染拡大により、4-5月ロックダウンとなった2Qに比べて3Q回復
- 中国 自動車分野：1-3月の新型コロナ感染拡大により1Q減収となったが、4月以降は急回復
- フィリピン HDD用サスペンションが好調継続
- その他 新型コロナ感染拡大によりタイ他自動車関連製品販売が不振だった2Qに比べて3Q回復  
HDD用サスペンション：その他地域への納入増加

(百万円)	2020年3月期				2021年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比 増減額	2Q比 増減率
売上高	10,270	10,737	10,540	10,807	7,964	8,872	<b>11,767</b>	+2,895	+32.6%
日本	4,603	4,809	5,196	4,879	2,738	4,068	<b>5,001</b>	+933	+22.9%
米国	1,135	1,172	1,024	948	908	461	<b>990</b>	+529	+114.8%
中国	855	1,074	972	1,116	701	1,022	<b>1,216</b>	+194	+19.0%
フィリピン	1,556	1,487	1,135	1,823	1,325	1,834	<b>1,877</b>	+43	+2.3%
その他	2,119	2,192	2,210	2,040	2,290	1,484	<b>2,682</b>	+1,198	+80.7%

# 連結貸借対照表

- 固定資産増加 : 有形固定資産+757百万円、投資有価証券・関係会社株式+1,132百万円
- 有利子負債増加 : 短期借入金+1,762百万円
- 純資産減少 : 当期純利益▲790百万円、配当金▲639百万円、  
為替換算調整勘定▲636百万円、投資有価証券評価差額金+777百万円

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期第3四半期	
	実績	実績	前期末比増減額	
流動資産	25,797	<b>24,154</b>	▲1,642	
現金	8,743	<b>6,087</b>	▲2,656	
売上債権	9,444	<b>10,460</b>	+1,016	
棚卸資産	6,835	<b>6,423</b>	▲412	
固定資産	25,124	<b>27,124</b>	+1,999	
総資産	50,921	<b>51,278</b>	+356	
負債	15,008	<b>16,628</b>	+1,620	
流動負債	11,599	<b>13,578</b>	+1,978	
有利子負債	1,288	<b>3,113</b>	+1,825	
固定負債	3,408	<b>3,049</b>	▲358	
有利子負債	2,148	<b>1,793</b>	▲354	
純資産合計	35,913	<b>34,650</b>	▲1,263	
負債純資産合計	50,921	<b>51,278</b>	+356	

# キャッシュ・フローの状況

- 営業C/F：税引前利益が前年同期比▲2,845百万円
- 投資C/F：自動車関連やHDD用サスペンションを中心に設備投資を実施
- 財務C/F：親会社で短期借入、米国・メキシコ子会社で短期・長期資金借入を実施

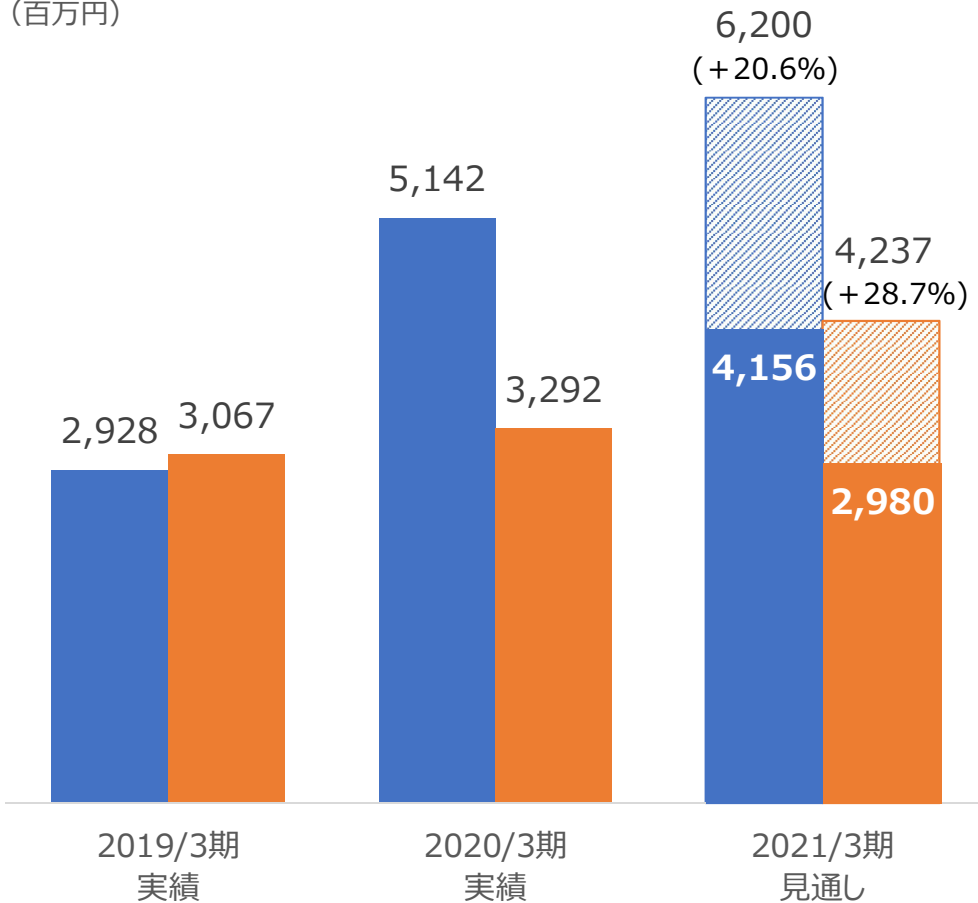
(百万円)	2020年3月期第3四半期		2021年3月期第3四半期	
	実績		実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825		432	▲1,393
税引前当期純利益	1,708		▲1,137	▲2,845
減価償却費	2,338		2,980	+641
売上債権増減	▲159		▲1,181	▲1,021
棚卸資産増減	▲1,022		188	+1,210
法人税等の支払	▲759		▲262	+496
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,854		▲3,877	▲1,022
有形固定資産取得	▲3,390		▲3,732	▲341
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,137		910	+2,047
短期借入金増減	233		1,783	+1,549
長期借入金増減	▲304		▲86	+217
配当金支払	▲628		▲620	+7

# 設備投資・減価償却の状況

- 自動車分野・HDD用サスペンションを中心に新製品・成長製品へ高水準の投資を継続
- そのため、高水準の償却負担は継続する見込み

■ 設備投資 ■ 減価償却

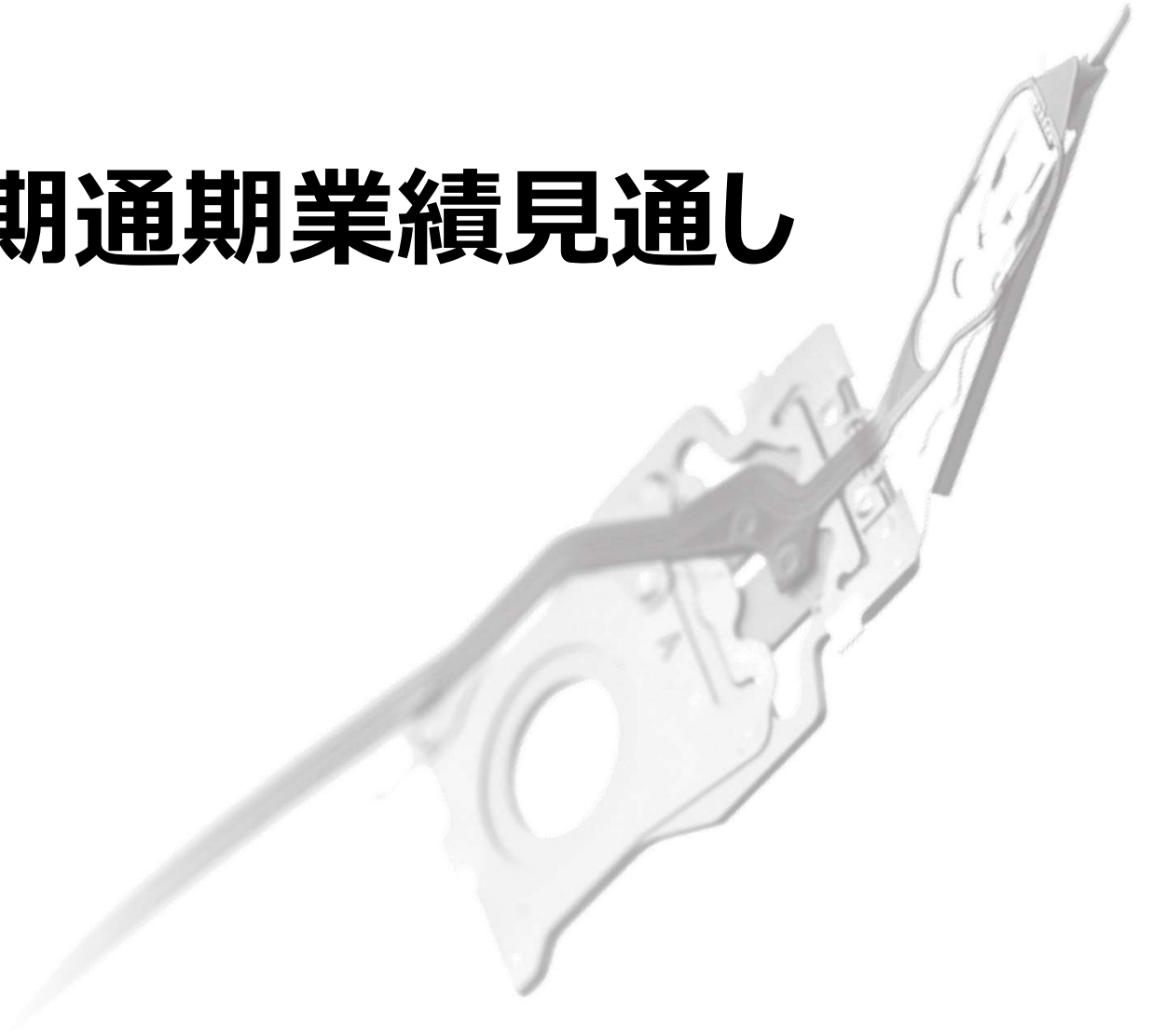
(百万円)



※上記設備投資額については完成ベース

(百万円)	2020/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期		
	実績	実績	増減額	増減率
設備投資	3,341	<b>4,156</b>	+815	+24.4%
減価償却	2,338	<b>2,980</b>	+641	+27.4%

# 2.2021年3月期通期業績見通し



# 2021年3月期 通期業績見通しのポイント

- 売上高 **40,000百万円**（前期比▲5.6%、▲2,354百万円）
- 営業利益 **▲1,270百万円**（前期比▲2,645百万円）

新型コロナウイルスによる各国行動制限の中、下期業績は着実に回復  
 ⇒8/6公表の業績見通しに対して通期業績見通しを上方修正

売上高 : 前回 38,000百万円 ⇒ 40,000百万円 (+2,000百万円)  
 営業利益 : 前回 ▲1,900百万円 ⇒ ▲1,270百万円 (+630百万円)

自動車分野（前年同期比▲11.1%）		電子情報通信分野（前年同期比+16.0%）	
上期（同▲28.7%）	下期（同+6.7%）	上期（同+3.5%）	下期（同+28.9%）
新型コロナ感染症の拡大で、 新車販売台数大幅減	各拠点とも回復を見込む （国内における半導体不足による 自動車メーカー稼働減の3月までの 影響は限定的と想定）	HDD用サスペンション	
		データセンター投資増で需要は高 水準。新機種増対応で設備投資 を促進	引続き増収を想定
		プリンター関連	
		テレワークでオフィス向け需要減	一般家庭特需により、テレワークに よるオフィス需要減を吸収

# 2021年3月期業績見通し

- 主に自動車分野が貢献し、業績回復へ
- 前回通期予想を上方修正（売上高+2,000百万円、営業利益+630百万円）  
4Q特別利益：退職給付制度改定益約3億円、米国給与保護プログラム債務免除益約1億円を想定

(百万円)	2020年 3月期	2021年3月期					
	実績	上期実績	下期予想	今回 通期予想	前期比 (額)	前回 通期予想	前回比 (額)
売上高	42,354	16,837	<b>23,162</b>	<b>40,000</b>	▲2,354	38,000	<b>+2,000</b>
営業利益	1,375	▲1,305	<b>35</b>	<b>▲1,270</b>	▲2,645	▲1,900	<b>+630</b>
経常利益	1,336	▲1,360	<b>340</b>	<b>▲1,020</b>	▲2,356	▲1,830	<b>+810</b>
当期純利益	1,123	▲1,016	<b>646</b>	<b>▲370</b>	▲1,493	▲1,280	<b>+910</b>
一株当たり利益	35.3円	▲32.1円	<b>20.4円</b>	<b>▲11.7円</b>	▲47.0円	▲40.5円	28.8円
平均為替レート	108.7円/ドル	106.9円/ドル	104.7円/ドル	105.8円/ドル	—	106.4円/ドル	—
	120.8円/ユーロ	121.2円/ユーロ	124.0円/ユーロ	122.6円/ユーロ	—	120.6円/ユーロ	—

# 2021年3月期 製品区分別売上高見通し

- 自動車分野                   材料関連：中国・メキシコの弁ばね用鋼材好調で下期挽回へ  
自動車関連：下期は前年同期比+2.2%まで回復へ
- 電子情報通信分野       HDD用サスペンション：新規機種を増産ラインが完成し前年比で大幅増へ  
プリンター関連の販売：下期は家庭向け特需で挽回へ
- その他                     スマートフォン用部品：数量減等

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期			
	実績	通期予想	前期実績比	前年上期実績比	前年下期予想比
売上高	42,354	<b>40,000</b>	▲5.6%	▲19.9%	+8.5%
自動車分野	30,249	<b>26,900</b>	▲11.1%	▲28.7%	+6.7%
材料関連	5,057	<b>5,400</b>	+6.8%	▲15.8%	+28.9%
自動車関連	25,192	<b>21,500</b>	▲14.7%	▲31.2%	+2.2%
電子情報通信分野	10,396	<b>12,060</b>	+16.0%	+3.5%	+28.9%
HDD用サスペンション	6,092	<b>7,840</b>	+28.7%	+16.6%	+40.6%
プリンター関連	3,403	<b>3,270</b>	▲3.9%	▲20.3%	+13.4%
通信関連	901	<b>950</b>	+5.4%	+6.9%	+3.6%
その他	1,708	<b>1,040</b>	▲39.1%	+2.1%	▲57.3%

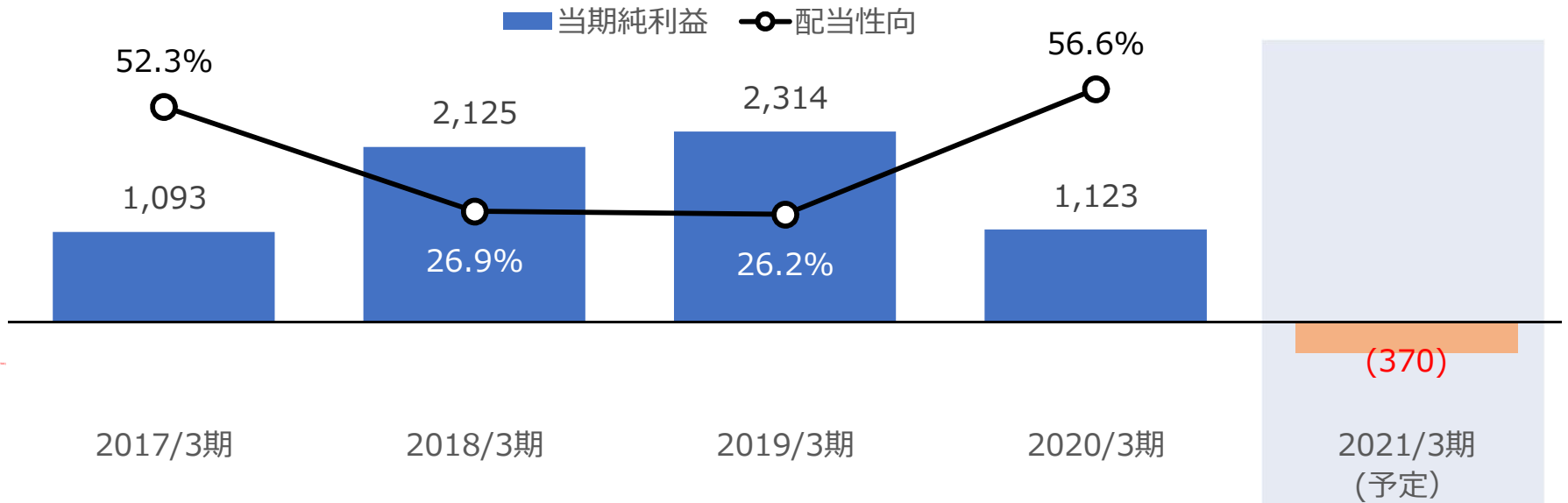


# 2021年3月期 配当方針

- 通期見通しは、新型コロナの影響や将来に向けた積極的な投資の継続による一時的な損失であると見込み、「中期経営計画GGP21」の安定配当方針に則り、期末配当11円、年間配当20円を予定

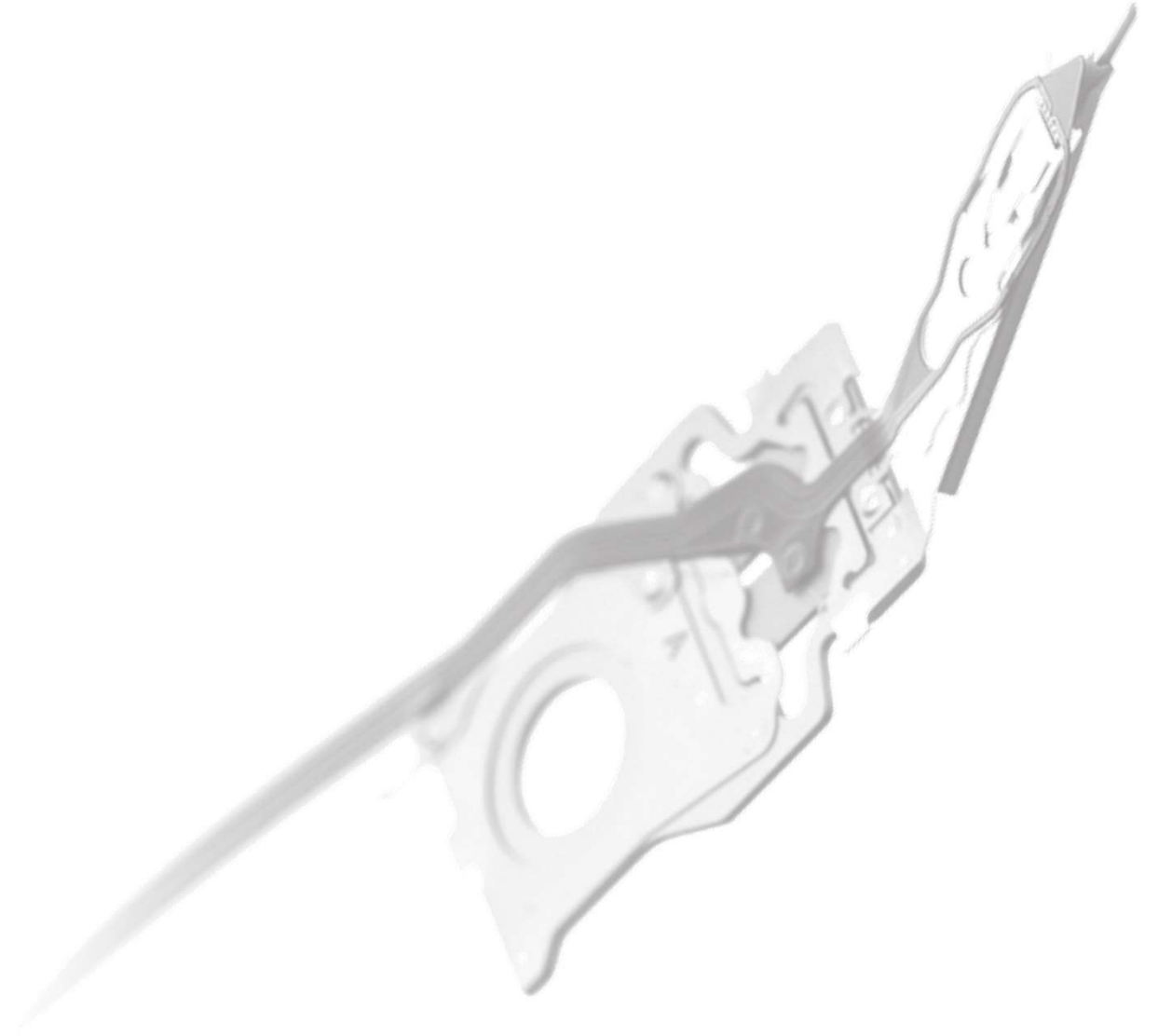
配当方針	当期純利益が	配当下限目標 20円
	25億円まで配当性向 30% 25億円超配当性向 40%	

(百万円)



	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期 (予定)
中間配当	8円	8円	8円	9円	9円
期末配当	10円	10円	10円	11円	<b>11円</b>
年間配当合計	<b>18円</b>	<b>18円</b>	<b>18円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>

# appendix



# 製品区分別売上（2021/3期3Q累計）

(百万円)	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	31,547	<b>28,605</b>	▲2,942	▲9.3%
自動車分野	22,861	<b>18,855</b>	▲4,006	▲17.5%
材料関連	3,782	<b>3,642</b>	▲140	▲3.7%
自動車関連	19,079	<b>15,212</b>	▲3,866	▲20.3%
電子情報通信分野	7,484	<b>8,930</b>	+1,445	+19.3%
HDD用サスペンション	4,178	<b>5,849</b>	+1,671	+40.0%
プリンター関連	2,633	<b>2,310</b>	▲322	▲12.3%
通信関連	673	<b>770</b>	+96	+14.4%
その他	1,200	<b>819</b>	▲381	▲31.7%

# 地域別売上 (2021/3期3Q累計)


(百万円)	2020年3月期第3四半期累計	2021年3月期第3四半期累計		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	31,547	<b>28,605</b>	▲2,942	▲9.3%
日本	14,610	<b>11,809</b>	▲2,800	▲19.2%
米国	3,332	<b>2,360</b>	▲971	▲29.2%
中国	2,902	<b>2,940</b>	+37	+1.3%
フィリピン	4,179	<b>5,036</b>	+857	+20.5%
その他	6,522	<b>6,457</b>	▲64	▲1.0%



# 会社概要

社名	: サンコール株式会社 SUNCALL CORPORATION
設立	: 1943年6月
資本金	: 48億8百万円
本社	: 京都市右京区梅津西浦町14番地
証券取引所	: 東京証券取引所 第一部
従業員数	: 2,315名 (連結) 632名 (単体)
主要株主	: 伊藤忠商事(株) 26.6% 日本マスタートラスト信託銀行(株) (退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口) 15.8%

(2020年12月末時点)

A partial view of a grey gear with several teeth, located in the top-left corner of the slide.

技術をより良い世界のために

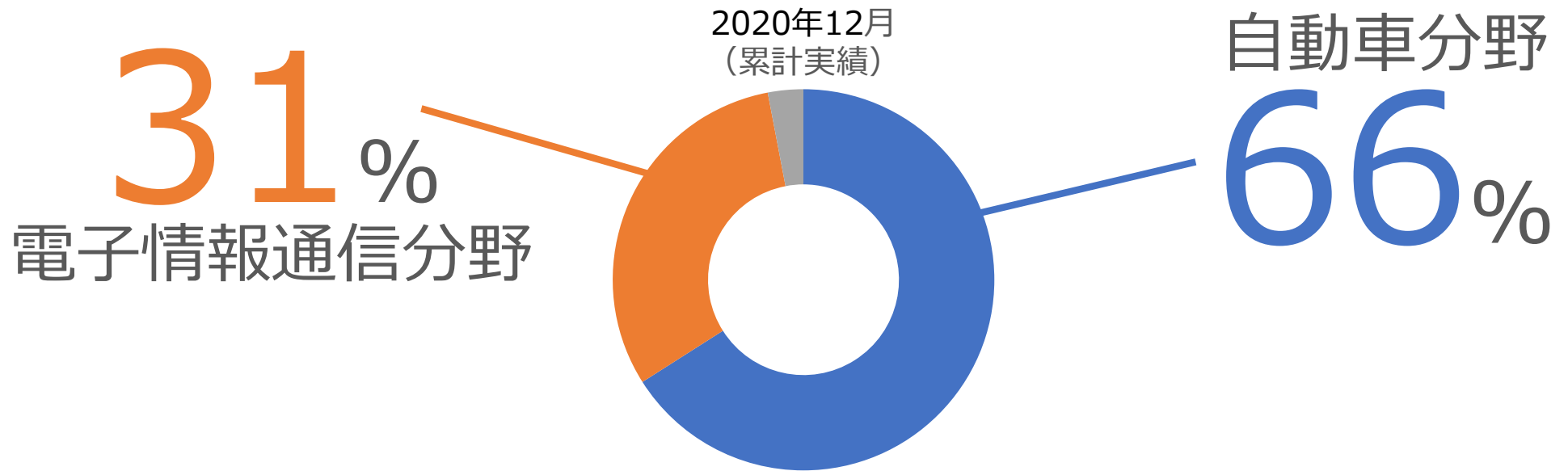
経営理念

# 技翔創変

サンコールは『技翔創変』という経営理念の基で企業の飛躍に邁進しております。

- ✓ 『**技翔**』とは、**技術を飛翔させていくこと**  
特異な技術無くして、SUNCALLは存在し得ない
- ✓ 『**創変**』とは、**変化を自分で作りだして行くこと**  
世の中の変化についていくのではなく、変化をリードし、創造していく

# 事業分野 / 主要製品



## HDD部品



HDD  
サスペンション

## プリンター部品



ローラー



トルクリミッター  
スプリングクラッチ

## 通信関連部品



光コネクタ



光アダプタ

## 精密機能材料



弁バネ用線



精密异形線

## 精密機能部品



弁バネ



リングギア



ぜんまいバネ



リアクターコイル

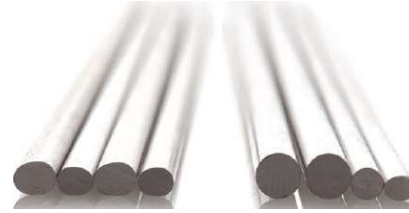
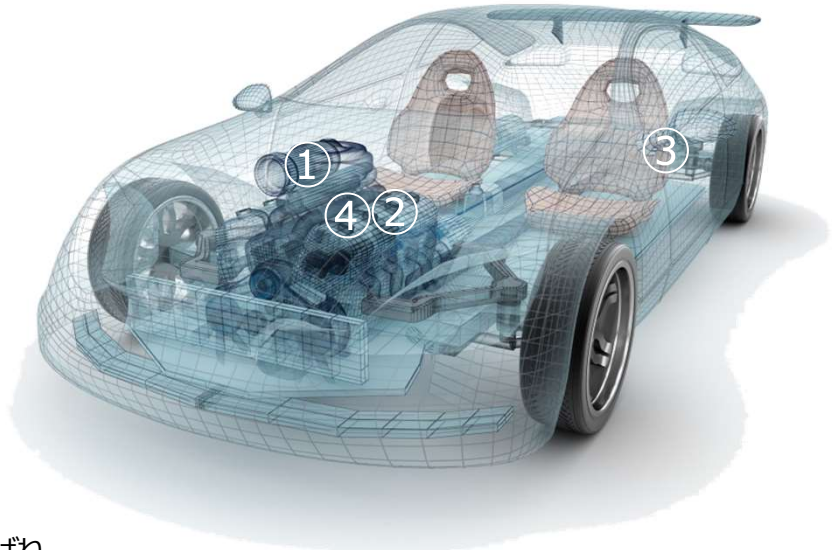


モーターコア部品



# 多様な用途に使用される当社精密部品-自動車分野

## 材料から加工まで一貫生産



材料関連事業・弁ばね用銅線 精密異形線

一貫生産を支える当社の芯。  
数々の独自技術に展開する  
コア事業。安心・安全・高品質で  
新規領域へ。

### ①弁ばね



国内シェアトップクラス。材料から加工まで一貫生産により、高品質、1億回の伸縮にも耐えられる高耐久性を実現。

### ②リングギア・ドライブプレート



国内シェアトップクラス。独自の金属加工技術で高精度を実現。

### ③シートベルト用ゼンマイばね



材料から製造するため、精密なトルクの調節が行え、快適性を実現。

### モーター・電気部品



### ④バスバー



ユニットの形状に合わせて個別に設計。これからの配線の主役。

### ④シャントonバスバー



電流を流しながら、電圧を測定できるという機能を盛り込んだ、バスバー一体型センサー。リチウムイオン電池のような大電流にも対応。

### ④フューズセンサー



過電流を検知すると通電部を破壊瞬断する次世代センサー

### ④モーターコア・ステーターコア



モーターの芯を構成する部品。当社は自動で一貫生産し、高い生産性を実現。



# 多様な用途に使用される当社精密部品-電子情報通信分野

## 進展する5G・IOTや増加する在宅勤務で 需要拡大が期待される製品群のキーデバイス

サスペンション

HDD

ローラー

トルクミッター  
スプリングクラッチ



HDD磁気ヘッドを、  
数十ナノメートル単位で位置決めする  
極限レベルの精度要求に対応



長尺・軽量・高精度シャフト  
供給によりW/Wトップシェア



データセンター

パソコン

プリンター



光コネクタ

光アダプタ



# 国内・海外拠点

## 国内14拠点

本社	京都府京都市
<b>生産拠点</b>	
本社工場	京都府京都市
豊田工場	愛知県豊田市
広瀬工場	愛知県豊田市
<b>国内子会社</b>	
サンコールエンジニアリング株式会社	山梨県南アルプス市
サンコール菊池株式会社	熊本県菊池市
<b>営業拠点</b>	
東京支店	神奈川県横浜市
名古屋支店	愛知県豊田市
西日本支店	京都府京都市
上田営業所	長野県上田市
北関東営業所	栃木県宇都宮市
浜松営業所	静岡県浜松市
近畿営業所	京都府京都市
西日本営業所	広島県広島市

## 海外7カ国15拠点

国	地域	出資比率	生産品目
アメリカ	インディアナ州	100%	弁ばね、リングギアほか
	サウスカロライナ州	100%	光通信部品（販売拠点）
	テキサス州	100%	
メキシコ	アグアスカリエンテ州	100%	弁ばね用材料、リングギア
	アグアスカリエンテ州	50%	シートベルト用ぜんまいばね
中国	広州	100%	弁ばね、リングギアほか
	広州	100%	弁ばね用材料（販売拠点）
	佛山	25%	弁ばね用材料
	天津	100%	リングギア
	深圳	100%	プリンター用ローラー、
	香港	100%	光通信部品ほか
タイ	チョンブリ県	100%	弁ばね、リングギア シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
ベトナム	ハノイ	100%	プリンター用ローラーほか
韓国	梁山	49%	シートベルト用ぜんまいばね材料
フィリピン	マニラ	100%	HDD用サスペンション（駐在員事務所）

## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。